

Local Area News

環境整備に関する

講習会を開催

群馬県バス事業(協)

2月4日、前橋市・群馬県公社総合ビルにおいて、「掃除で磨く企業力」をテーマに講習会を開催した。

講師は、Shine Bright代表の飯塚輝明氏。

飯塚氏は、環境整備(整理・整頓・清掃)による経営改革と人材育成のコンサルティングで知られる「株式会社そっじの力」の元プロデューサー。平成30年に独立し、現在は整理整頓によるマネジメン トトレーナーとして群馬県を中心

に活動している。

氏は、「モノが片付いていない会社は、社内の人間関係や合意形成、指揮命令系統等も乱れる傾向にあり、組織の機能不全に陥りやすい。経営力のアップには『整理整頓』が欠かせない」と指摘。その上で「整理整頓の真の意味は、筋道を整え詰まりを取り除くこと。整理整頓に取り組む際は、一気にやろうとせずに、毎日コツコツと継続して行うことが大切。少しずつでも進捗することが社員のモチベーションアップにつながり、ひいては、組織力の向上につながる」と持論を展開した。参加者は、熱心に飯塚氏の講演に耳を傾けていた。



講習会の様子

「こけしコンクール

作品展」を開催

群馬県こけし(協)

2月6日から10日の5日間、群馬県庁1階の「県民ホール」において、「第60回全群馬近代こけしコンクール」出品作品展を行った。主催は、同組合のほか、群馬県、前橋市、渋川市等。

会場には、県内のこけし作家や専門学校生が制作した伝統的な創作こけしのほか、新型こけしや木地玩具など個性あふれる作品232点が展示された。

同コンクールは、本県の「近代こけし」の品質と意匠の改良及び技術の向上を図り、こけし産業の振興に寄与することを目的に、昭和34年より開催されている。

第60回の記念開催となった今回は、例年実施されているこけしの即売やこけしの絵付け体験のほか、特別企画として、歴代の最優秀作品の展示と作家による「よろこぶ」での制作実演も行われた。

来場者は、木のぬくもりと個性豊かなこけしの表情を楽しんでいた。



個性あふれる創作こけしの数々



歴代の最優秀作品

LAW

「ユースエール」に認定

四万林業(協業)

2月13日、群馬労働局より「ユースエール」に認定された。

「ユースエール」認定は、若者の採用や育成に積極的で、若者の雇用管理の状況が優良な事業者に贈られる。当組合は、有給休暇の年平均取得率が99・1%と高く、月平均の所定外労働時間も4・1時間と短い点などが評価された。

同日、前橋合同庁舎において認定通知書の交付式が行われ、群馬労働局の田窪文明局長より宇敷孝夫理事長へ通知書が手渡された。



認定通知書を掲げる田窪局長(左)と宇敷理事長(右)

アレルギー対策の

研修会を開催

群馬県クリーニング生活衛生同

2月16日、前橋市・けやきウォーク前橋「多目的ホール」において、「クリーニング店における環境アレルギー対策」をテーマに講習会を開催した。

講師は、一般社団法人日本環境保健機構・環境アレルギーアドバイザーの時東あみ氏。

同組合では、アレルギー物質を気にする消費者が近年、非常に多いことから、組合員であるクリーニング店に「環境アレルギー」についての理解を深めてもらうこと

同研修会を企画した。

研修会で時東氏は「クリーニング店は、洗濯がアレルゲン除去に極めて有効であることを消費者に広く啓蒙するとともに、クリーニング店でしかできない『布団の丸洗い』といった技術をもつと積極的にPRしていくことが必要ではないか」と述べ、クリーニング店の活性化の方策について提案を行った。



講師の時東氏



研修会の様子

桐生織のロゴマークと

HPを発表

桐生織物(協)

2月19日、(独)日本貿易振興機構(ジエトロ)とともに、「桐生織」を海外市場へ売り込むことを目的に製作したロゴマークとホームページを発表した。

ロゴマークは、アルファベット「K」の文字をモチーフにし、生地が織り込まれていく様子をデザインした。HPは多言語対応のウェブサイトを活用し、画像や動画を豊富に盛り込み、「桐生織」の魅力を発信する内容となっている。



HP上に掲載されたロゴマーク
※HP: <https://kiriyutextile.com/>